

【声に出して読む】 俳句 小林一茶 五

餅つきや あたり一面 母の声

もちつきや あたりいちめん ははのこえ

この道や 行く人なしに 秋の暮れ

このみちや ゆくひとなしに あきのくれ

親譲り たまの着物の 虫干や

おやゆずり たまのきものの おしぼしや

朝顔に つるべ取られて もらひ水

あさがおに つるべとられて もらいみず